

【質問】桜川・東の統合小の位置について利根川決壊時に大丈夫なのか。道路も通れなくなるのではないか。財産区委員の立場としてではなく、市民としてなぜ東中学校の位置なのか疑問である。

【回答】前提条件として、新たな土地の取得・建物の新築をしないとしている。桜川中学校では建物が小さく教室数等を考慮するともう1棟必要となってしまう。将来的に児童数がさらに減少した場合中学校を1校にする案が出てくる可能性もあるので、現段階では大きい建物である東中学校としている。ご指摘のハザードエリア浸水区域の部分について、桜川中学校より被災するリスクはあるが、現在も避難経路を整えた上で学校運営がされている。気象予報の精度も上がっており、予報を基に休校等の早めの判断をする等しっかりと対応を講じていく。保護者含め地域の皆様も懸念されている点であるため、対策をしていきたい。

【質問】小、中学校を新しく統合するとなると、さらに費用がかかるが、市民の負担という点でどの程度なのか気になる。現在の中学校を増築して小学校が入るのか。

【回答】中学校の教室を可能な限り使用し、不足分だけを増築する。苦渋の選択として浸水区域となっている東中学校となっているが、桜川中学校と東中学校の比較をして教室数について東中学校が多いため、小学校が入ってきた際に多少の不足はあるが、増築する教室数が少なくなる。金額も試算し、東中学校へ不足分を増築して対応すると5億円程、桜川中学校だと33億円程で見込んでいる。(資料1のP22参照) 費用部分も考慮しての選択となっている。

【質問】建物だけでなく、学校に行くまでの道路が陥没した際の想定はしているのか。

【回答】大きな災害の場合は、周りの田んぼ含めて浸水となると思うが、水が引くまでは休校にする等の対応をすることになる。

【意見】以前の大雪の際には、東地区の人も避難して桜川運動公園等がいっぱい入り、入れなかつたということもあった。

【意見】なにが起きててもおかしくない異常気象が続いているので、そこも想定をして検討していただきたい。

【質問】統合については、かわち学園のような小中一貫校とはまた違うのか。

【回答】最終決定はしていないが、一貫校ではなく小学校・中学校が独立した形のほうが、メリットが大きいと考えている。校長も各校配属され、教職員数もより多く配置できる等もあるため、現段階では一貫校にはしない考えである。

【質問】学校の建物自体のかさ上げは考えているのか。

【回答】学校自体のかさ上げは考えていない。

【意見】財産区委員としてではなく、地域住民として学校位置の道路環境や建物・土地のかさ上げ等も検討していただきたい。

【質問】桜川小学校は建築して何年も経っていないが、統合した後の活用については考えがあるのか。

【回答】桜川小学校は令和3年に開校し、今年で5年目になり、統合するのが令和15年の計画、桜川小学校はまだ使用できる建物なので、市で有効的に活用していきたいと考えている。具体的にこうした施設で使用するというのではまだ決まっていないので、市全体で今後検討していく。桜川小学校をはじめほとんどの小・中学校は閉校していくことになるので、現段階で残る予定の江戸崎中学校、東中学校以外の学校についても活用を今後検討し、有効的に活用していきたい。

【質問】人口の推移について、出生者が古渡地区で令和7年度8月現在3人、他地区的出生者をみても稲敷市全体で少なく、市の存亡の危機も迫っているのではないか。今後さらに学校を統合し、1校にするということはあるのか。

【回答】市でも人口が減らないように対策をしているが、中々歯止めがかからなのが現状である。おっしゃるとおり人口減少がさらに進むと1校ということも見込まれてくる。その部分も想定して、10年間の計画にしている。10年間では最終的に説明させていただいたように東西に中学校1校・小学校1校で計中学校2校、小学校2校という計画案である。10年間の計画も途中5年毎に見直しを考えている。人口減少に歯止めがかかり、統合の必要がなくなるよい状況になればよいが、さらに子どもが減少し、統合を早めたほうがよいという状況になる可能性もあるので、作成した計画も5年を中途に途中での見直しをする。各学校の保護者をはじめ地域の皆さんに説明をし、意見交換のなかで修正できる部分は修正をしていく。

【意見】学校の再編について、財産区の土地に関するため本日説明いただいたが、委員が2名欠席のため、全員で再度協議したい。